



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
6/16 (月)	+ 100	▲ 2,400	▲ 2,300	国庫短期証券発行償還 (3M) 国債発行償還 (個人)	国債補充供給 + 2,600 国債買入 + 9,700 社債等買入 ▲ 100		日：日銀金融政策決定会合 (1日目) 加：G7首脳会議
6/17 (火)	トン	+ 1,000	+ 1,000				日：日銀金融政策決定会合 (2日目) 米：FOMC (1日目) ：輸入物価指数 (5月)
6/18 (水)	トン	+ 4,000	+ 4,000		貸出増加 ▲ 94,000		日：貿易収支 (5月) 米：FOMC (2日目) ：新規失業保険申請件数 (6月14日終了週) 欧：ユーロ圏CPI (5月)
6/19 (木)	▲ 1,000	+ 1,000	トン				
6/20 (金)	▲ 1,000	+ 32,000	+ 31,000	国庫短期証券発行償還 (1Y) 国債発行 (5年) 国債償還 (5年・10年・20年)			日：日銀金融政策決定会合議事要旨 (4月30日・5月1日分) ：植田日銀総裁が全国信用金庫大会であいさつ ：全国CPI (5月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比8,800億円増加の519兆8,600億円から始まった。その後、源泉税揚げや年金定時払い等の要因により増減し、13日は529兆2,200億円 (速報) で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初0.477%から始まり、週半ばに一部金融機関で試し取りが行われたことから0.481%まで上昇し、週末13日は0.477% (速報) で越えた。

ターム物は1W~2W物0.481%~0.610%のレンジ、1M~3M物0.56%~0.720%のレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、16・17日に日銀金融政策決定会合、海外では17・18日に米FOMCなどがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.450 ~ 0.478
1M	0.53 ~ 0.70
2M	0.55 ~ 0.75
3M	0.58 ~ 0.75
6M	0.65 ~ 0.80

<レポ>

足許GC取引は週を通して+0.49%近辺で出合いが見られた。輪番オペがあった9日と13日も水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年460~468回債、5年155~177回債、10年355~370、378回債、20年110~130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.40%台
CP 3M	0.55 ~ 0.60

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆1,160億円で、週間償還額の1兆735億円を上回った。発行残高は先週末時点の2兆93億円から、6月12日時点で2兆37,819億に減少した。発行市場は、小売業、食糧、卸売業、建設業、化学で大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは、先週に引き続き、a-1格相当の1か月物では政策金利に近い0.50%台前半での出合い、3か月物では0.50%台後半から0.60%近辺での出合いが見られた。

来週の償還額は9,790億円となっている。発行市場は、発行体の四半期末に向けた有利子負債圧縮の動きから、償還超となる見込み。発行レートについては、今週に引き続き、1か月物では0.50%台前半での出合い、3か月物に関しては0.50%台後半から0.60%近辺と、横ばい圏での出合いを予想する。

<TDB>

9日の6M (1311回債) の入札は、最高落札利回り0.5058% (前回債0.4462%)、平均落札利回り0.4938% (前回債0.4381%) となった。

13日の3M (1312回債) の入札は、最高落札利回り0.4468% (前回債0.4698%)、平均落札利回り0.4317% (前回債0.4529%) となった。

来週の入札は19日に1Y、20日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。